

## 木曽牛給食の日で木曽牛についての授業を行いました

○実施日 12月17日（水）

○場 所 木曽町立福島小学校

○内 容

木曽地域は県内でも有数の和牛子牛の産地です。農業農村支援センターとJA木曽、町村等で構成する木曽優良子牛生産パワーアップ協議会では、木曽地域で飼育された黒毛和種「木曽牛」のブランドイメージ強化や地域理解の増進を目的として活動しています。

協議会の事業のひとつとして、郡内の栄養士会と連携し郡内小中学校の給食へ木曽牛を提供し味わってもらうとともに、食育授業により木曽地域の畜産業について理解を深めてもらう「木曽牛給食の日」を実施しています。

木曽町立福島小学校では、12月17日（水）の給食に木曽牛を使用した牛丼が提供されました。併せて、3学年の1クラスに農業農村支援センターが先生としてお邪魔し、木曽牛についての食育授業を行いました。

授業では、木曽地域は和牛子牛生産農家が多いことや木曽町に県内唯一の子牛市場があること、市場で購買された子牛は県内外でブランド牛として肥育されることなどを話しました。前半はクイズを交えながらの賑やかな授業となり、後半では命をいただけたことに感謝して欲しいというメッセージを伝えたところ、真剣な眼差しで聞いてくれました。

給食の時間はインフルエンザ等の感染症対策のため黙食でしたが、食べ終わった後に「美味しかった！」との感想が多くあったそうです。

授業は一部の学校のみとなります。木曽牛肉は郡内小中学校のほぼ全校に提供される予定です。児童の皆さんも木曽牛給食の日で学んだことや感じたことを各家庭に持ち帰ってもらい、地域産業への理解増進や牛肉の消費拡大に寄与することを期待しています。



写真1：授業の様子



写真2：木曽牛を使用した給食